

ウィークエンド・コンファレンス2006

トップマネジメントセミナー 新しい『公』を構想する

- 第1回 10月 7日(土) 13:30~15:30 会場:青森公立大学大会議室
(講師)青森公立大学教授 佐々木俊介「地域づくりにおける担い手と『公』の再構築」
- 第2回 10月 21日(土) 13:30~15:30 会場:青森公立大学大会議室
(講師)青森公立大学教授 志賀敏宏「高度情報化社会における『公』への新しい期待」
- 第3回 11月 4日(土) 13:30~15:30 会場:アウガ5F 研修室
(講師)青森公立大学教授 天野巡一「『公』の領域の再構築」
- 第4回 11月 11日(土) 13:30~15:30 会場:青森公立大学大会議室
(講師)青森公立大学教授 阿波田禾積「地域の自立と新しい公共の可能性」
- 第5回 11月 25日(土) 13:30~15:30 会場:青森公立大学大会議室
(講師)青森公立大学教授 遠藤哲哉「新しい公と対話空間の創出」
- 第6回 12月 9日(土) 13:30~15:30 会場:アウガ5F 研修室
(講師)青森公立大学教授 村田晴夫「『公と私』の思想—新しい『公』のために」

受講料 無料

会場 各回によって異なりますのでご注意ください。

対象・定員 県内の企業等の経営者やトップマネジメント層の方 先着20名

申込方法 開催日の前日までに、受講を希望する開催日、講座名、住所、氏名
(ふりがな)、性別、年齢、連絡先の電話番号を記入し、お電話、
FAXまたはEメールにてお申し込みください。

応募連絡先 青森公立大学 地域研究センター

お電話:017-764-1589 FAX:017-764-1593

Eメールアドレス kouza@bb.nebuta.ac.jp

青森公立大学まちなかラボ(青森駅前再開発ビル アウガ6階)でも、
お申込みをお受け致しております。お立ち寄りの際にお申込みください。

主催/財団法人青森学術文化振興財団

共催/青森公立大学 地域研究センター

トップマネジメントセミナー 新しい『公』を構想する

第1回 「地域づくりにおける担い手と『公』の再構築」

(講師) 青森公立大学教授 佐々木俊介

地域づくりの分野では、地域振興など社会の共通目標における合意形成やその実現のための公権力の行使など、基本的な問題が身近かで展開され、折々に議論されてきました。近年、政治や行政という既存の「公」の担い手の問題や限界も意識され始め、市民や企業などの新しい担い手も登場してきています。ここではいくつか具体的な例を取り上げながら、地域づくりを通して新しい時代の「公」を再構築する可能性と課題を考えていきます。

第2回 「高度情報化社会における『公』への新しい期待」

(講師) 青森公立大学教授 志賀敏宏

高度情報化社会は、価値の中心が、モノ・お金から人・知恵に移行する社会です。お金万能を言う人もいますが、お金を使う知恵が大事になっているので、お金自体は投資先を求めて余っているのです。また、情報技術は知恵ある個人・集団のテコとなり、格差社会を生む要因ともなります。この格差に対して、機会の平等、再チャレンジ機会が保証されれば十分でしょうか。高度情報化社会、IT活用社会における「公」への期待の問題提起と試的提言を行います。

第3回 「『公』の領域の再構築」

(講師) 青森公立大学教授 天野巡一

自治体の政策領域のひろがりとともに自治体をめぐる法律もあらたな領域に対応すべく再構築しなければならなくなってきました。自治体政策の委託化に伴い、広がりをもってきたのですが、行政の委託化が今後の行政法の根本に今後がかかわってきます。また、公的活動領域とされていた分野から「私的活動領域」に転換が図られた場合の法的責任を被害者救済の視点から検討しなければならなくなってきました。同時に、いままで行政法中心に構築されていた「公務」、「公務員」論も再構築しなければならなくなってきたことを提案したいと考えております。

第4回 「地域の自立と新しい公共の可能性」

(講師) 青森公立大学教授 阿波田禾積

暮らしの豊かさを実現し、実践する場は「地域」です。地域の豊かさを実現するには、地域社会がもつ伝統、文化、地域固有の環境や資源を活かした「暮らし」を創造することです。また、地域の特性を活かした地域の自立の下での豊かな暮らしを創り出すには、従来の「公・行政」の機能を地域住民やNPOが共に担う新たなパートナーシップが必要とされます。このような視点から、行政、住民、NPOの各主体がどのような機能・役割を果たしながら協働し、豊かな暮らしを創るための地域的な公共財を提供していけばよいかを考えます。

第5回 「新しい公と対話空間の創出」

(講師) 青森公立大学教授 遠藤哲哉

新しい「公」を創っていく組織論的条件として、開かれたコミュニケーションと対話が重要です。成果の出ている組織においては、自由闊達な対話空間が存在しているように感じられます。そこで、開かれたコミュニケーションを創造するためのマネジメントのあり方を、探っていきます。具体的には、対話空間の創出に向けた政策動向を踏まえて、コーチングの考え方や技法を素材に、実際にスキルを身につけながら、参加者で検討していきます。

第6回 「『公と私』の思想—新しい『公』のために」

(講師) 青森公立大学教授 村田晴夫

現代は、グローバル化と情報化に象徴される文明社会の転換期に立っています。人間としていかにそれに対応するかが問われているし、そしてもちろん、国としてあるいは地域社会として、それがいかに対応するかが問われています。そのなかでも最も重要な問題のひとつに「公と私を改めて考え直さなければならない」ということがあります。新しい「公と私」の哲学について、みなさんとともに考えましょう。